（別紙様式１－１）

職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦について

文　部　科　学　大　臣　殿

令和5年7月31日

下記の専修学校の専門課程を職業実践専門課程として認定する課程として推薦します。

記

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
大阪デザイナー専門学校	1977/4/1	長尾　大樹	〒　530-0003 （住所）大阪府大阪市北区堂島2-3-20 （電話）06-6345-4676
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人Adachi学園	1967/1/12	安達　暁子	〒　102-0081 （住所）東京都千代田区神田駿河台二丁目11 （電話）03-5283-6288

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	デザイン専門課程	インテリアデザイン学科	平成6年文部科学省認定	－

学科の目的	インテリア空間が人に及ぼす影響を理解し、空間ごとに異なる与条件下において求められる空間の質的向上を目指し、専門知識、設計・デザインスキル、デジタルスキルの習得に取り組む。

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	1920時間	572時間	0	1348時間	0	0　時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内数）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人	32人	4人	1人	9人	10人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準：　課題評価、試験等の評価による 評価の方法：　ABCD評価(出席率、課題提出、授業態度)
長期休み	■夏　季: 7月26日～ 9月 5日 ■冬　季:12月20日～ 1月 9日 ■春　季: 3月20日～ 4月 4日	卒業・進級条件	卒業要件： 規定単位の修得及び卒業課題に 合格し、且つ学費の完納者。 進級要件： 規定単位の修得及び進級課題に合格する。
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 学生サポートチームによる個別相談や、保護者連絡により対処。専門カウンセラーによるサポート有。	課外活動	■課外活動の種類 （例）学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学校祭，研修旅行等 ■サークル活動：　無
就職等の状況	■主な就職先、業界等（令和3年度卒業生） 店舗設計事務所、住宅設計工務店、住宅設計施工会社、店舗施工会社、家具販売、住宅営業 ■就職指導内容 業界把握や自己分析などの就職対策授業：進路個人面談を通年で実施。事務所見学や合同業界説明会など就職対策イベントの開催。 ■卒業者数　12　人 ■就職希望者数　11　人 ■就職者数　9　人 ■就職率　75　% ■卒業者に占める就職者の割合：　75　% ■その他 ・帰国留学生：1名 ・フリーター：2名 （令和　3 年度卒業者に関する令和４年５月１日時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報） 資格・検定名 / 種 / 受験者数 / 合格者数 パース検定 / ③ / 14人 / 13人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

中途退学の現状	■中途退学者　4 名　■中退率　12 % 令和4年4月1日時点において、在学者32名（令和4年4月1日入学者を含む） 令和5年3月31日時点において、在学者29名（令和5年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 （例）学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 経済的理由、病気療養、進路変更、家庭事情 ■中退防止・中退者支援のための取組 （例）カウンセリング・再入学・転科の実施等 欠席者への日々の電話連絡、保護者への連絡相談、個別面談、カウンセラーを交えた面談、補習授業への参加促進
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有 ※有の場合、制度内容を記入 AO特待生制度、校友会入学時奨励金制度、校友会進級時奨励金制度。 ■専門実践教育訓練給付：　非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体：　受審年月：　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ
当該学科のホームページURL	https://www.odc.ac.jp

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

社会が求めるニーズを敏感に読み取り、即応するカリキュラム編成とした実践教育を行うことを旨とする。
業界の今を的確に捉え、求められる知識、技術の育成に力点を置き、学ぶことで社会と直結した教育機関のあるべき姿を具体化する。教育効果を客観的視点で評価し、改善の方法を探る為の評議の場を設ける。本方針を共有できる企業との連携を力強く緊密の行い、業界の状況に即した弾力的なカリキュラム編成とする。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長と学務会議の間の位置付けとする。教育課程編成委員会を通して、学科が所属する業界の情報共有を委員会で行い、教育現場に反映させることが目的とする。挙げられた口意見を学務会議にて 議論、それを経て、校長を経由した上で責任者会議に持ち込まれ、決議される。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
板倉 康裕	公益財団法人大阪産業局 大阪デザイン振興プラザ	令和5年4月1日～令和6年3月31日	①
西岡 英人	イサナ創庵	令和5年4月1日～令和10年3月31日	③
長尾　大樹	大阪デザイナー専門学校　校長		ー
三上　裕之	大阪デザイナー専門学校　学務実務責任者		ー
松本　農	大阪デザイナー専門学校　教員		ー

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）

年2回　（3月、12月）

（開催日時（実績））
第1回　令和5年3月18日　18:00～19:30
第2回　令和5年12月18日　18:00～19:30（予定）

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

教育課程編成委員会より企業と学生の関係の密接化をより高めていって欲しいとの要望を受け、ワークショップ授業で展開させ、受講者の進路と授業内容の関係を明確にしていく上での担当企業の詳細業務紹介、制作意図の周知徹底、プレゼンテーションなどを行い、学生に対しての担当者コメントをリアルタイムに伝えていく事で、より一層密度の高い授業を運営する。

（別途、以下の資料を提出）
＊　教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
＊　教育課程編成委員会等の規則
＊　教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由（推薦学科の専攻分野との関係等）※別紙様式３－１
＊　学校又は法人の組織図
＊　教育課程編成委員会等の開催記録

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
連携企業指導担当者との連絡を密に取り、プロジェクトの決定、関係企業各位への連絡、調整、要望確認、現地見学、指導を経てプレゼンテーション（オンライン）まで一過したディレクションを行うことを基本とする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

プロジェクト内容説明、関係企業からの要望確認、資料配布のうえ、コンセプトワーク、プラン提案指導
プレゼン資料作成指導、アドバイス、最終プレゼン方法指導、講評までの指導を担う。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
ワークショップ	奈良県五條市サッカーシューズメーカー「アドラー」のブランディング提案・ショールームデザイン提案など	株式会社NINO （ NINO inc. ）

（別途、以下の資料を提出）
＊　企業等との連携に関する協定書等や講師契約書（本人の同意書及び企業等の承諾書）等

（別紙様式１－２）

授業科目等の概要

	（デザイン専門課程インテリアデザイン学科）令和5年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			空間計画	住空間、商業空間のそれぞれの計画、デザイン手法を学ぶ	1前	34	2	○			○			○	
2	○			建築デザイン史	日本、西洋の建築様式を時代とデザインとの関係性から学び、空間デザインを提案する知識とする。	1前	34	2	○			○			○	
3	○			空間デザイン概論Ⅰ	日本のデザイナー、作品を中心に、空間構成要素を学び、デザイン性、作品性、意図などを考える。	1前	34	2	○			○		○		
4	○			空間研究Ⅰ	リサーチ、ケーススタディを重ね、デザイナーの視点、プラン、表現方法についての理解を深める。	1前	34	2	○			○		○		
5	○			空間デザイン概論Ⅱ	海外のデザイナー、作品を中心に、空間構成要素を学び、デザイン性、作品性、意図などを考える。	1後	34	2	○			○		○		
6	○			空間研究Ⅱ	デザイン対する嗜好、価値観を共有し、より魅力的な空間を提案するグループワークによるスタディ	1後	34	2	○			○		○		
7	○			材料学	仕上材料に関する知識とその特性に関して学ぶ。	1後	34	2	○			○			○	
8	○			構造学	木構造、RC構造等の構造形式と仕上材料の施工方法に関しての理解を深める。	1後	34	2	○			○			○	
9	○			パースⅠ	空間イメージをスケッチとして表現するための基礎技術力の習得を目指す。	1前	68	4		○		○		○		
10	○			パースⅡ	空間イメージをスケッチとして表現するための応用表現力の習得を目指す。	1後	68	4		○		○		○		
11	○			インテリア製図	木造、RC造建築物の基本図面表現を学ぶとともに、構造、施工に関する知識の習得を目指す。	1通	136	4		○		○		○		
12	○			CAD製図	Vector Works の基本操作技術（２D、３D）を学び、コンピュータでの図面作制能力を育成する。	1通	136	4		○		○		○		

13	○			設計基礎	基本的な空間設計力の習得から、空間計画、空間演出に求められる視点、スキル向上を計る	1通	136	4		○		○			○	
14	○			インテリアデザイン基礎	発想、企画立案から計画、設計、プレゼンテーション至る手法を基礎から学ぶ。	1通	136	4		○		○		○		
15	○			見学実習	空間を実体検することで、感覚で空間を理解する姿勢を育成し、魅力について考察する機会とする。	1通	68	2	○				○		○	
16	○			カラーコーディネート基礎	人と室内空間との調和を計る色彩デザインの在り方を探る。	2通	60	2	○			○			○	
17	○			作家作品論	近現代の日本、西洋の建築デザイン様式および思想を学び、教養的知識とする。	2通	60	2	○			○			○	
18	○			空間デザイン概論	ゲスト講師を招いての講座。リアルタイムで流通するデザイン手法、商品知識等を学ぶ。	2通	60	2	○			○		○		
19	○			ワークショップ	ゲスト講師を招いての講座。産学連携課題の指導を通じ、実社会でのデザインワークを学ぶ。	2通	60	2		○		○		○		○
20	○			デジタルワーク	photshop、illustrator の基本から応用まで幅広く学び、デジタルスキルの向上を目指す。	2通	120	4		○		○			○	
21	○			ＣＡＤ設計	Vector Works でのレンダリングテクニック向上と、インテリア図面制作スキルの向上を目指す。	2通	120	4		○		○			○	
22	○			専攻実習	コース目的に特化した課題制作をとおし、より専門性の高い作品制作を行う。卒業制作へ移行する。	2通	120	4		○		○			○	
23		○		スタイリング演習	実現場を対象としたディスプレイテクニックを学ぶ。	2通	120	4		○		○			○	
24		○		リビングスタイル	基本的な住空間の設計手法を学ぶと共に、家族の物語を演出するデザイン力の向上を目指す。	2通	120	4		○		○			○	
25		○		ショップスタイル	ショップデザインにおけるマテリアル、照明、造形要素等の在り方に関して学ぶ。	2通	120	4		○		○			○	
26		○		３Ｄ ＣＡＤ	より精緻な3D画像の制作および、3Dアニメーションの制作手法を学ぶ。	2通	120	4		○		○			○	
27		○		コーディネート概論	インテリアコーディネート資格取得を目標とし、その知識、態度の育成を目指す。	2通	120	4	○			○			○	

28		○		ジョブエクササイズ	業界理解、模擬面接、グループディスカッション、作品集制作等、希望の就職実現を目指す。	2通	60	2	○			○		○		
合計					28　科目				2280 単位（単位時間）							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	課題制作や試験等に合格し、且つ卒業制作を受理されること	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	講義・演習授業への出席と課題提出	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。